■別の UART チャンネルを利用する

ラズパイは、すべてのモデルでは、UART のチャンネルとしてチャンネル 0 とチャンネル 1 が利用できます。Pi 4、Pi 400 では、チャンネル 0、チャンネル 1 に加え、下表のチャンネルが利用可能です。

利用したいチャンネルを有効にする場合は、/boot/firmware/config.txt ファイルの「dtoverlay」項目に、パラメーターを設定して再起動します。

チャンネル番号	GPIO		デバイスファイル名	config.txt の設定
	TxD	RxD		
1	14	15	/dev/ttyAMA1	dtoverlay=uart1
2	0	1	/dev/ttyAMA2	dtoverlay=uart2
3	4	5	/dev/ttyAMA3	dtoverlay=uart3
4	8	9	/dev/ttyAMA4	dtoverlay=uart4
5	12	13	/dev/ttyAMA5	dtoverlay=uart5